



KCs logo

韓国向け KCsEx 認証(防爆部品)

労働安全衛生法に基づき、韓国労働安全衛生庁(KOSHA)は、防爆電気部品の KCsEx 認証を要求しています。1992 年以来、韓国には ex-proof コンポーネントの承認システムがあります。

KOSHA は IECEx スキームに参加し、2000 年に国際的に認められた認証機関(ExCB)および試験所(ExTL)になりました。

認証は、完全な機械または設備の製造業者が実施することはできませんが、電気 Ex コンポーネントの製造業者が申請する必要があります。

韓国の KCs 認証プロセス

KCs メーカー認証の KOSHA 規則に基づく認証プロセスは以下です。

Step 1: 書類審査

安全認証対象の機械・器具などの製品技術に関する書類が安全認証規格に適しているかを確認。

審査期間: 韓国内の製造会社の場合は 15 日間、日本・その他海外製造の場合は 30 日間

Step 2: 製品審査

安全認証対象の機械・器具などが書類審査の内容と一致しているか、さらに安全に関する性能が安全認証規格に適しているかを確認。

審査期間: 60 日間

Step 3: 技術力/生産システム審査

安全認証対象の機械・器具などの安全性能を持続的に維持・保証するためにメーカーが備えるべき技術力と生産システムが安全認証規格に適しているかを確認。

審査期間: 韓国内の製造の場合は 30 日、日本・その他海外製造の場合は 45 日間

Step 4: 確認審査

安全認証を受けたメーカーが安全認証規格を持続的に遵守しているかを定期的に確認。

審査周期: 1 年毎

KC 認証を取得してから 2 年ごとに定期検査を行い、認証過程で確認された基準で製品が製造されていることを確認しています。

メーカーがすでに自社製品の IECEx 認証を取得している場合は、韓国の防爆証明書を取得するための簡略化された認証プロセスがあります。このプロセスでは、IECEx ドキュメントが検査されるため、ExTR が製品テストに取って代わり、IECExQAR が最初の工場検査の代わりになります。証明書の有効性を維持するために、韓国当局による定期的なフォローアップ検査に合格する必要があります。

ATEX 証明書のみが利用可能な場合、ATEX に基づく KC の認証は特定の状況でのみ可能であり、常に個別にチェックする必要があります。ヨーロッパの加盟国と韓国人の間で ex-proof コンポーネントを相互に認識するシステムとしての ATEX はメンバーではないため、ATEX は韓国の Ex 認証に直接受け入れられません。

これは主に、ATEX 証明書を発行した機関と、韓国当局との覚書(MOU)があるかどうかによって異なります。ATEXドキュメントが受け入れられた場合、製品テストのみが回避される可能性があります。最初の工場検査はまだ必要です。

少量の Ex-proof コンポーネントを韓国に輸入する場合は、KC メーカー認定の代替手段もあります。1つの証明書で最大 10 個の同一の Ex コンポーネントをインポートできる簡略化された KC インポート証明書があります。輸入認証には輸入者の協力が必要です。有効な IECEx 証明書に基づいて KC 輸入認証を申請する場合、テストや工場検査は必要ありません。